
第 64 報 平成 26 年 9 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 生コンクリート／宮古 】

宮古地区の生コンクリート需要は、4月から6月にかけて復興関連工事の引き合いも落ち着きを見せ一服感がただよっていたが、7月以降は再び増加傾向に転じている。価格面では4月の上昇以降、横ばいで推移しているものの、工事の最盛期となる秋口から年度末に向けて原材料不足が懸念されており、県外産(海上輸送品)の骨材に依存する割合が増加すれば、再び上伸の可能性もある。当面、強含み横ばいで推移する見通し。

【 コンクリート用 砂／いわき 】

いわき地区の生コンクリート需要は、前年より若干減少しているものの震災前との対比では増加しており、コンクリート用砂の需給ひっ迫状況は依然として解消されていない。メーカー各社は、運搬車両不足や燃料・電気料金の上昇、プラント設備の修繕等による製造コスト高から、春先に実施した値上げ以降も強硬な販売姿勢を維持しており、しばらくは、強含み横ばいで推移する見通し。

【 石油製品 】

原油価格の下落を受けて元売卸価格が引き下げられてきたことや、このところの天候不順の影響で販売量が低迷していることなどから、市中では安値販売が目立っている。

現状では中東地域における地政学的リスクが原油供給に与える影響は限定的であると見られているだけに、元売卸価格が急激に反発する可能性は薄い。先行き、弱含み横ばいで推移する見通し。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物工場の稼動状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物各工場の稼動状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼動状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	2014年 9月号	700円/m3上伸 1万4,000円	9月10日		均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2014年 8月号	1,500円/m3上伸 2万2,750円	9月10日	4月から6月は復興関連工事の引き合いが落ち着き、一服感があったものの、7月以降は再び増加傾向にある。価格は4月の上昇以降横ばいで推移しているものの、工事の最盛期である秋口から年度末にかけて原材料不足も懸念され、骨材の県外産(海上輸送品)の割合が増えれば、再び上伸の可能性もある。目先、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	1,000円/m3上伸 1万7,700円	9月10日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2013年 8月号	2,000円/m3上昇 1万7,500円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	1,000円/m3上伸 1万3,000円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	9月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料) (掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 3月号	300円/m3上伸 3,800円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	9月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	9月10日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	300円/m3上伸 3,700円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	9月10日	生コン需要が前年より若干減少しているものの、震災前よりも増加しており、需給ひっ迫状況は解消されていない。メーカーは、春先の値上げ後も強い販売姿勢を維持しており、先行きも、強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	9月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 単位:m3 (P170~) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,900円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	9月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2014年 9月号	100円/m3上伸 3,700円	9月10日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 3,600円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 1月号	200円/m3上伸 3,800円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	9月10日		ひっ迫
	南相馬		2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	9月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		仙台	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,200円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,300円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,800円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,400円	9月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	9月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2014年 6月号	100円/m3上伸 2,150円	9月10日		ひっ迫
	南相馬		2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	9月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	2013年 9月号	700円/t上伸 1万2,800円	9月10日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2014年 4月号	800円/t上伸 1万5,600円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,800円	9月10日		均衡	横ばい
		久慈	2014年 4月号	600円/t上伸 1万4,900円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
		釜石	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,900円	9月10日		均衡	横ばい
		宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	9月10日		均衡
	石巻		2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
	石巻(雄勝)		2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	9月10日		ややひっ迫	横ばい
	気仙沼		2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	9月10日		均衡	横ばい
	亘理		2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	9月10日		均衡	横ばい
	松島		2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	9月10日		均衡	横ばい
	南三陸		2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	9月10日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	800円/t上伸 1万3,100円	9月10日		均衡	横ばい
		南相馬	2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	9月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	9月11日	鋼矢板については、足元の需給環境に大きな変化はないものの、下期以降は需要が増加するものと見込まれており、需給環境はタイトに転じるものとみられる。一方、鋼管杭、鋼管矢板は、大型プロジェクトが多数控えており、需給は引き締まっている。今後さらに物件の増加が見込まれる中、一部では納期の遅れも懸念される。輸送コストの上昇を背景に、メーカー側は鋼管杭の販価を引き上げたい意向で、先行き、強含み推移。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	9月11日	主原料となる鉄屑相場が強含みで推移していることや、電力料金、運搬費などのコストが高止まりする中、メーカー側は、再び採算が悪化することを危惧しており、軟調に推移してきた市況を立て直すべく、売り腰を引き締めている。先行き、横ばい推移の見通し。	均衡	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	9月11日	仙台地区以外の都市では現在もメーカーは需要家側と価格交渉を継続している。一部のメーカーにおける価格交渉の開始が遅れたことで需要家側の抵抗を勢いつけていた。しかし、各社とも足並みが揃ったことで、メーカーは売り腰を強めており、値上げの理解を需要家に求めている。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	209	コンクリート 型枠用合板	9月10日	需要は、年度明け以降停滞気味で、市中の需給バランスは緩和傾向にある。販売側は、仕入れコスト上昇分の価格転嫁を打ち出しているが、港頭在庫の荷余り感が残っており、相場上昇までには至っていない。この先、入荷量の絞り込みにより、需給バランスは次第に引き締まるとみられ、強含み横ばいで推移する公算大。	均衡	強含み横ばい
	木材	224 ～ 227	仮設・土木用 木材	9月10日	沿岸部では、海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いが続いている。品薄状態は一服し、現在入荷は順調。価格は高止まりしており、今後も需要が見込まれることから、先行き、横ばいで推移する見込み。	均衡	横ばい
		228 ～ 235	一般建築用 木材	9月10日	需要は災害公営住宅の建設が本格化してきているが、民間の新築需要はまだ回復に至らず、盛り上がり欠いている。また、職人不足の影響から工期の遅れも目立ち始めている。需要は回復の兆しが見えず、先行き、動意薄く横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	248 ～ 250	石油製品	9月12日	原油価格の下落を受けて元売卸価格が引き下げられてきたことや、天候不順等の影響による販売量の低迷から、市中では安値販売が目立っている。 現状、中東での地政学的リスクが原油供給に与える影響が限定的であることから、元売卸価格の急激な反発の可能性は薄く、先行き、弱含み横ばいで推移しそう。	やや緩和	弱含み横ばい
	仮設関連資材	252(販売) 282(リース)	仮設足場	9月12日	官需・民需とも発注が好調でリース材の稼働率は好調に推移しており、同時に販売需要も増加している。リース、販売とも需要は増加基調にあるものの需給は均衡しており、リース料金・販売に価格変動はみられない。先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	264 ～ 270	建設機械器具 賃貸料金	9月11日	東北地区では復興関連の物件が一巡し、大手レンタル事業所の買い入れの影響もあって需要は一段落の様相を呈している。当面、現行水準を横ばいで推移する公算が大きい。	均衡	横ばい
		271 ～ 281	仮設鋼材 賃貸料金	9月11日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 震災復興工事関連の需要は計画の見直しなどで当初の見込みより遅れているが、仮設鋼材の稼働率は高水準を維持している。特に鋼製覆工板を中心に需給はひっ迫しており、鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが生じており、急な引き合いには対応出来ない場合もみられる。母材となる鋼材価格が高止まりしているため、リース業者各社は見積価格を引き上げ、安値受注を回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しているため賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も大きな需要が見込まれており、先行き、強含み。 【敷き鉄板】 東北地区は旺盛な復興関連需要を背景に引き合いは好調。一部では供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、在庫保有量が多い関東地区も需要は底堅く、リース業者各社は、在庫を比較的引き合いの少ない西日本から東日本にシフトしている。需給が引き締まった状況の中、各社、見積価格を引き上げて安値受注を回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しており賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も高い需要が見込まれ、先行き、強含み。	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	299	ストレートアスファルト	9月12日	東北地区における復興関連工事向け出荷が一服し、需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5～2倍の高水準が続き堅調に推移。一方、全国のス・アス需要は前年並みから若干減少しており、供給そのものに支障は生じていない。 原油価格は弱含みだが、輸送コストの上昇が続くため、先行き横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	576	針葉樹 構造用合板	9月10日	メーカーの継続的な減産により需給環境は改善傾向にあるものの、出荷量が生産量を上回る水準にはなく、荷動きは回復していない。メーカーは9月より値上げを打ち出しているが、需要の盛り上がりには欠けている中、需要家側の反応は鈍く、先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	9月12日	足元の復興関連需要は、依然として土木関係が中心で、電線・ケーブルの荷動きについては堅調とはいえ小規模案件が多い。復興需要の本格化はまだ先の見通しで、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。供給体制についても現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	9月8日	官需では下水道関連および津波の塩害が残る農地関連の復旧工事が本格化し、上下水道用・農水用製品の価格が上伸したが、建築・設備用製品については一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、震災復興関連需要が価格動向に与える影響は殆ど出ていない。メーカー側は昨年春に続き今春からさらなる値上げを打ち出し、採算改善に懸命だが、全国的には荷動きが鈍く、需要の盛り上がり待ちつつ市況維持を図っている状況。供給体制そのものに支障はみられず、先行き、強含み横ばい。	均衡	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ～ 9	9月4日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、復興工事の継続的な発注と自治体等の大型工事の発注が重なり、昨年度末のようなひっ迫した状況に戻りつつある。鉄筋工の慢性的な労務不足が解消される兆しはなく、大手ゼネコンでも建築・土木系の区分なく応援要請している状況。 専門工事業者側では、これまで長年にわたって下落してきた単価を、社会保険未加入分も含めて本来の水準に戻したい意向で、値上げ要請を緩める気配はみられない。需要家が値上げを受け入れたことで、市場価格は『土木施工単価』秋号で7%の上伸となった。先行き、関東のオリンピック特需にどこまで業者や職人が流出するか不透明な状況もあり、引き続き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	442 ～ 445	9月11日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、国・自治体等、復旧・復興関連工事が引き続き進められている中、昨年度末に複数件発注されたトンネル・橋梁等大型工事の影響もあり、以前から続く労務不足が解消される兆しは見えていない。特に鉄筋工については専門工事業者の強腰な交渉姿勢から『土木施工単価』秋号で5%前後の上伸となった。 工事業者側では今後も労務者、建設機械の不足状況はしばらく続くと見ており、工事費相場は専門工事業者優位で堅調に推移している。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	450 ～ 453	9月11日	被災三県(岩手、宮城、福島)では、災害復旧工事を中心とした港湾工事が多く発注されており、港湾工事業者では労務手配に苦慮する場面が散見されている。特に鉄筋工・型枠工・潜水士が不足しており、労務不足の影響から型枠工は『土木施工単価』秋号で5%前後の価格上昇となった。 港湾工事業者側では、内陸部での土木、建築工事を含めた今後の工事発注量次第ではさらに労務不足が深刻化するとの見方を強めており、市況形成は専門工事業者側が主導権を握っている。先行き、強含み推移の見通し。	ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	9月10日	沿岸部の水産加工場等の施設や、内陸部の復興住宅等の工事が本格化しているほか、オフィスビルや住居向け物件も見られる。 工期や工程の遅れが常態化している中、職人の稼働率は徐々に高まり、需給はひっ迫の度合いを強めている。また、隣接県等からの応援に頼らざるを得ない状況にも変化はなく、職人不足が解消されるメドは立っていない。先行き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	9月10日	沿岸地域の水産加工場や、内陸部の復興公営住宅等の工事が本格化しているほか、住居・オフィスビル等の物件も継続的に見られる。 夏場以降、工事の本格稼働に伴い、労務需給のタイト感が一段と強まっており、総合工事業者は型枠工確保を最優先せざるを得ない状況となっている。型枠工不足はこの先も続くものと見られているだけに、引き続き強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み